

The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

2019日本学生トライアスロン選手権 観音寺大会

競技説明会

目次

1.大会当日スケジュール

2.スイム競技

3.トランジション

4.乗降車ライン

5.バイク競技

6.ラン競技

7.ペナルティ

8.ペナルティボックス

9.その他注意事項

10.オフィシャル

11.プロテスト

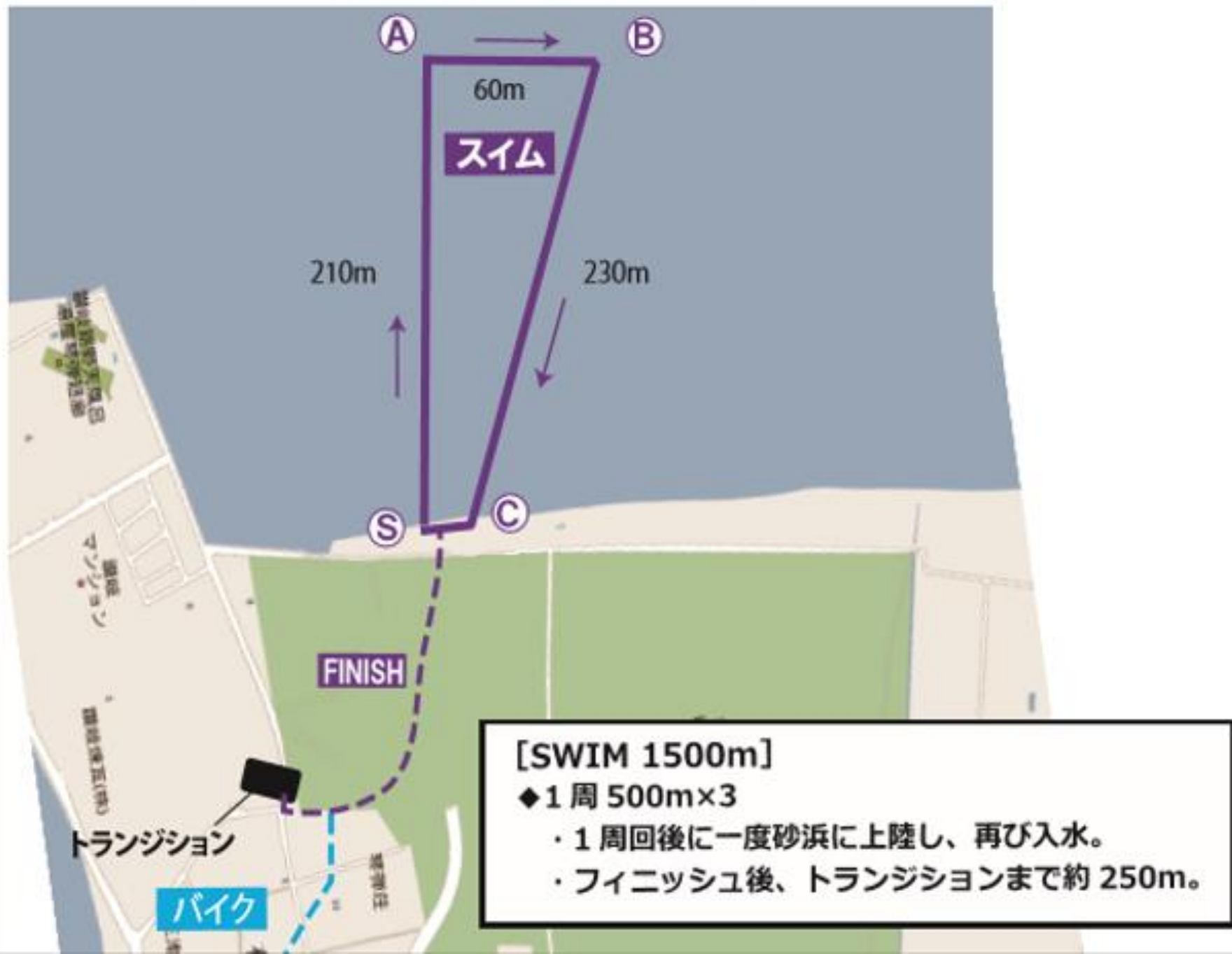
1、大会当日スケジュール

時間	実施事項	実施場所
8:45~ 11:45	選手最終登録	大会本部
8:45~ 9:45	トランジション一次オープン 全選手バイク搬入	有明グラウンド
8:45~ 9:45	ストックホイール 受付	カーオフィス タカシ敷地内
9:45~ 10:05	女子入水チェック	有明浜海水浴場
10:05	交通規制開始	コース全域
10:15	女子スタート	有明浜海水浴場

時間	実施事項	実施場所
12:30~ 12:45	トランジション二次オープン 男子レース前準備/バイク搬入不可	有明グラウンド
12:45~ 13:05	男子入水チェック	有明浜海水浴場
13:15	男子スタート	有明浜海水浴場
14:50	交通規制解除	バイクコース
15:50	交通規制解除	全コース
16:45	閉会式・表彰式	有明グラウンド

2. スイム競技

スイムコース図



[SWIM 1500m]

◆ 1周 500m×3

- ・ 1周回後に一度砂浜に上陸し、再び入水。
- ・ フィニッシュ後、トランジションまで約 250m。

- 水温20°C**未満**の場合
ウエットスーツの**着用を義務**とする。
- 水温20°C**以上**の場合
ウエットスーツの**着用を不可**とする。

- 入水チェックは**指定された時間のみ可能**

女子	9:45~10:05
男子	12:45~13:05

※入水チェックに

遅れた選手・行わなかった選手は失格とする

※一度、入水チェックを行った選手は
スイム会場から

スイム終了まで出ることはできない

3. トランジッション

- ・ トランジッションの開放の時間は

一回目

8:45~9:45

二回目

12:30~12:45

※バイクの搬入は

一回目のトランジッションオープン時のみ
とする。

※トランジッションエリア**クローズ時間以降**の
エリア内での**設営を一切認めない**。

クローズ時間に**遅れてきた選手、**
クローズ後に**設営している選手を失格**とする。

- ヘルメットのストラップは
ラックからバイクを**取出す前に**しっかりと絞める
こと。

バイクフィニッシュ後は、
バイクを**ラックに掛けた後に**ストラップを
外すこと。

→違反者は**ペナルティの対象**

- バイクをラックにかけるときは、
ラックナンバーが手前に見える向きのサドル掛けとする。

なお、**バイク終了後もスタート時と同じ向き**でかけなければならない。

→違反者は**ペナルティ**の対象

- ・ 競技備品の搬入、回収は原則**選手本人**が行い、**レースナンバー提示をしなければならない。**
- ・ 救護等の理由で選手本人が回収が出来ない場合**代理での回収**を認める。
その際、**当該選手のレースナンバー**の提示を行う。

- ・ 出入口では

- ・ **ゼッケンのレースナンバー、**
バイク・ヘルメットのレースナンバー
の確認を大会スタッフが行う。

- ・ バイクを搬入する際、

- ・ **必ずヘルメットのストラップ**をすること。

4.乗降車ライン

- 乗車時はラインを
足が1歩以上超えてから乗車し、
降車時はラインの手前で
足を1歩以上ついてから降車すること。

違反者は
ペナルティの対象とする。

乘車時



降車時



5. バイク競技



【大会会場】
有明グラウンド

【周回起点 A】

乗馬クラブの交差点から 400m

□【ホイールストック】

周回起点 A から 100m
カーオフィス タカシロ敷地内

乗馬クラブ

【BIKE 40km】

有明グラウンドをスタート。
周回起点 A～折返地点 B 間
往復 7.2km を 5 周回した後
有明グラウンドへ戻る。

【折返地点 B】

豊浜町交差点手前 65m
「仁尾 14km」の道路標識下

- 有明グラウンドをスタート
- 周回起点A～折返地点B間
往復**7.2km × 5周回**

- ・今大会ではドラフティングを許可する。
- ・クリップオンバー**装着を禁止**する。
- ・後部が尖った形状のタイムトライアル(TT)用ヘルメットの**着用を禁止**とする。
- ・ヘルメットは、**顎にしっかりとフィットしているもの**以外認めない。

- ドラフティング走行を行う場合、**ブレーキに手がかかる姿勢**で行うことを推奨。
- **キープレフト**を厳守し、
追い越す際には後方を確認してから
右側から追い越すこと。
- エンドキャップが外れている場合は**テープ等**で
しっかりとふさぐこと。

6.ラン競技



- 2.5km × 4周回

- **キープレフト**を厳守すること。
- 応援関係者及び他の選手による、競技者の**伴走**は認めない。
- **意図的な同着**は認めない。
- 一度フィニッシュした選手が**再度コース内に入る**ことはできない。

8.ペナルティー

- JIU競技規則及びローカルルールに違反する行為に対してはペナルティーを与える。

競技中に適用を受けなかった場合でも、レース後に違反行為が認められた場合はペナルティーを与えることがある。

- ペナルティーはタイムペナルティー(TP)ルールがその時の状況により、審判長により適用される。

7.ペナルティーボックス

- ・ペナルティーを受けた選手は
ペナルティーボックスに入り、
与えられた**TPを消化しなければならない。**
- ・消化せずにフィニッシュした場合は**失格**とする。
テクニカルオフィシャルによる**誘導等を行わない。**

- ・ **ナンバーをボックス付近に提示すること**
により対象者への通知とする。

番号の掲示が1周目で間に合わないこともあるので、**必ず2、3周目も確認すること。**

- ・ ペナルティーボックスに入るのは、
どの周回でもよい。

日本学生トライアスロン選手権観音寺大会 [会場周辺図]



9.その他注意事項

ナンバーシールの貼り方

1. 貼付箇所（両腕、両脛）の皮脂や汚れを落として清潔にする。
2. 絵柄（番号）が記載されている側の透明のフィルムをはがしてください。
3. 貼付箇所の肌が乾燥していることを確認したら、絵柄が肌面に触れるように、シールを台紙ごと貼付箇所に押し当ててください。
4. 水をたっぷり含ませたタオルやスポンジでシールの台紙を押さえつけながら十分に濡らして下さい。
5. 台紙を十分に濡らした後、20秒程度そのまま待ちます。絵柄が肌に付着していることを確認しながら、台紙をゆっくりはがしてください。
6. 台紙をはがした後、30秒程度で完成です。（水分を十分に乾いていることを確認してください。）

- ・ ナンバーシールは

両腕、両足の計4箇所

に貼ってください。

- 脱水症や熱中症予防のため
水分補給を心がけること。
- リタイヤする場合は、
必ずTOに申し出て、
TOに**アンクルバンドを返却**すること。
- バイク競技中リタイアした場合、
バイクに**乗らずに押して**会場まで帰ること。

- ・フィニッシュ後、
上半身裸になる等の行為をやめること。
→一般の方々の迷惑になるため。
- ・アナウンス後、
バイクのピックアップを迅速にお願いします。
- ・補給食やテーピングなどのごみを
コースの上に捨てた場合、
ペナルティの対象とする。

～ストックホイールについて①～

- ・ディスクブレーキ及びディスクバイク用ホイールの使用を許可。

出場選手**1～19人時**の

ストックホイールを前後輪**1組**とし、

そこから**10名増えるごとに1組追加**していく。

～ストックホイールについて②～

例) リムホイール、ディスクバイク用ホイールを申請する場合

- ・ 出場選手が各大学**1~19名**の場合、
リムホイール**1組**、ディスクバイク用ホイール**1組**、
計**2組**
- ・ 出場選手が各大学**20~29名**の場合、
リムホイール**2組**、ディスクバイク用ホイール**2組**、
計**4組**

※ただし、ディスクバイク用ホイールの申請がない場合
従来のストックホイール規定と同様。

～ストックホイールについて②～

例) リムホイールのみの場合

- ・ 出場選手が**1～19**名の場合、リムホイール**1**組
- ・ 出場選手が**20～29**名の場合、リムホイール**2**組

～ストックホイールについて③～

- ・ストックホイールの受付時間は、

8:45～9:45

です。

- ・**現地に直接搬入してください。**

※この時間以外の受付は**認めません。**

～ストックホイールについて③～

- ・ホイールストック
設置場所



- 写真撮影を希望される方は**メディア受付**を大会受付で行い、大会中はメディアカードを**首からかけて**撮影をすること。

撮影終了後には、**メディアカードを必ず返却すること。**

- トランジッションエリアの撮影は一切禁止する。
- TOに対する**暴言・暴行**は行わないこと。
- **マナーをもった応援を行うこと。**

10. オフィシャル

- オフィシャルは本大会競技規則にそって大会を運営する義務がある。
- 審議委員会は日本学生トライアスロン連合の浦上壮太郎、深谷佳亮、目高龍太郎によって組織される

11. プロテスト

- 審判長の判定、その他のことに関して不服がある場合は、抗議をすることが出来る。
- ただし、以下に関することは抗議を受け入れない。
 - ① **ドラフティング**
 - ② **ブロッキング**
 - ③ **暴言などスポーツマン精神に反するもの**
- 抗議がある場合は、審議委員会に対して行う。

質問

ここまでで質問がある方は
いらっしゃいますか。

ご健闘をお祈りしています！